

下駄の製造過程で出る端材を有効活用へ ～水鳥工業が循環型商品プロジェクト開始～

下駄メーカーの水鳥工業(静岡県葵区、代表取締役社長:水鳥友紀子)は、2026年4月より、下駄の製造過程で生じる端材を再資源化する「端材を生かした取り組みプロジェクト」を始動。年間で大量に発生する端材を新たな製品へと生まれ変わらせ、循環型社会の実現と廃棄物削減を目指します。持続可能なものづくりの推進に向け、外部パートナーやアイデア提供者も広く募集することを予定している。



■ 背景・開発の経緯

水鳥工業は1937年の創業以来、長年にわたり履物づくりに携わってきました。現在、主力商品である下駄の製造工程では発生するマホガニー材の端材や鼻緒生地 of 端材が数多くでています。これまでは有効な活用方法が見いだせず、一部が廃棄される課題がありました。そこで弊社は、これらの端材を貴重な資源として循環させる新たなプロダクト開発に着手いたしました。「ゴミを資源に変える」という社会課題への挑戦を通じ、持続可能なものづくりの実現を本格化してまいります。

■ プロジェクトの詳細

「端材を生かした取り組みプロジェクト」では、既存下駄の製造時に発生する端材を最大限に活用。これまで未利用だったマホガニー材や鼻緒生地の端材・残布に焦点を当て、日常生活やビジネスで役立つ新たな循環型商品(詳細は検討中)の開発を進めます。外部業者との連携も視野に入れ、市場投入後の安定供給に努める方針です。

■競争優位性と今後の展望

副産物の有効活用は業界全体の共通課題ですが、下駄づくりという静岡の地場産業の一翼を担うメーカーとして、持続可能な生産体制の確立を目指します。本プロジェクトでは、自社スタッフの知見に留まらず、外部からの斬新なアイデアや協働パートナーを積極的に募ることで、多様な視点を取り入れた「ユーザー参加型」のものづくりを追求していきたいと考えています。

■担当者コメント

「これまで捨てられてきた端材を新たな価値に変える挑戦を始めました。『もったいない』の精神で、地域と共にサステナブルな未来を創造したいと考えています。環境配慮が一段と求められるこれからの時代を見据え、新しい環境価値に関心をお持ちの方々のご意見を広く取り入れていけたらと思っています。」(担当:山内久実)

【会社概要】

会社名:株式会社 水鳥工業

所在地:〒420-0876 静岡市葵区平和1丁目18番22号

創業:1937年

事業内容:げた製造/販売

代表者:代表取締役社長 水鳥 友紀子

URL:<https://www.geta.co.jp>

TEL:054-271-6787

【問い合わせ先】

水鳥工業株式会社 担当:山内久実

E-mail:info@mizutori.co.jp